

被災した地方公共団体に対して、国土交通省の『資機材・マンパワー・ノウハウ等』を活用した応援・支援に取り組んでいます

- ◇ 排水ポンプ車、照明車等の派遣
- ◇ 応急復旧工法等の技術指導



そして



## 一 災害支援の実施一

国土交通省中部地方整備局では、地方公共団体への地域づくり及び災害支援のため、管内の各事務所に『地域総合支援室』を設置しています。

豊橋河川事務所【窓口対応者】 副所長 森 TEL0532-48-2111(代表)

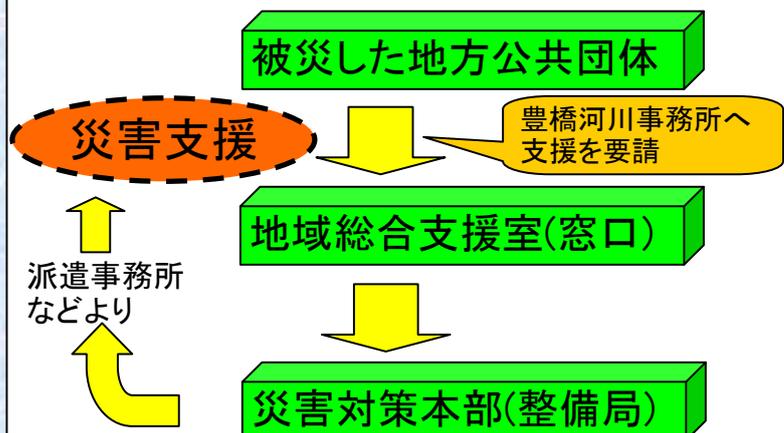
### 通常の災害支援

- ◇ 資機材の支援
  - ・被災状況の緊急調査
  - ・応急復旧工法の助言など
- ◇ その他
  - ・他の応援団体との調整・連携

#### ◎費用負担・・・

災害対策車等を地方公共団体へ引渡した場合、その後にかかる費用(現場経費等)は、原則、地方公共団体の負担となります。(ただし、災害状況によって異なる)

### 支援の流れ





## 対策本部車

対策本部車は、災害現場において現地災害対策室として機能します。

会議室(8人収容可)、通信装置、トイレ、ミニキッチンを備えています。

免許: 中型

(全長×全幅×全高)  
8.5m×2.4m×3.5m

車両総重量  
10.6t

設置: 20分

会議室(8人収容可)

通信装置

K-COS(国土交通省専用)  
超短波無線(国土交通省専用)

テレビ(衛星放送対応)

トイレ(燃焼式)  
ミニキッチン 清水タンク200L、  
汚水タンク100L  
仮眠可能人員(8人収容可)

配置台数(豊橋河川事務所)  
1台  
配置: 豊橋河川事務所

配置台数(中部地方整備局)  
8台



## 排水ポンプ車

排水ポンプ車は、洪水時、現場へ出動し、排水作業を行ない、浸水被害を防ぎます。

排水能力は、30m<sup>3</sup>/min(4台ポンプ稼働時)

免許: 中型

(全長×全幅×全高)  
8.5m×2.4m×2.9m

車両総重量  
10.2t

設置: 8人パーティ 60分

排水可能時間: 6~8時間  
(1回給油当たり)

排水ポンプ  
7.5m<sup>3</sup>/min×4台  
揚程: 8~10m  
(水を汲み上げられる高さ)

小学校の25mプールを10分程度で一杯にする力があります。

配置台数(豊橋河川事務所)  
3台  
配置: 豊橋河川事務所  
配置: 豊川防災センター  
配置: 豊田防災ステーション

配置台数(中部地方整備局)  
35台



## 照明車

照明車は、災害現場へ出動し、広範囲での明るさを確保し、夜間の復旧活動や監視を支援します。

免許: 中型(8t限定)

(全長×全幅×全高)  
4.7m×1.9m×3.5m

車両総重量  
5.5t

設置: 15分

照明可能時間: 20~40時間  
(1回給油当たり)

照明灯

2kw×6灯

明るさ:

50m先で新聞が読める明るさ

最大地上高: 10m  
(3階建てビル屋上相当)

配置台数(豊橋河川事務所)  
2台  
配置: 豊川防災センター

配置台数(中部地方整備局)  
33台